

## ■今後の県連主催大会等の運営方針について

2021(令和3)年10月8日

島根県ソフトテニス連盟

9月末で緊急事態宣言が全国一斉に解除されたことを受けて生活行動の緩和措置が検討されるなど、新型コロナウイルス感染症を取り巻く現在の社会情勢は変化し、回復基調にあります。

一方で、再度感染拡大が生じないように、基本的な感染症対策を継続することも求められています。

また、スポーツ大会などのイベントにおいて観客の入場制限を緩めた運営がどの程度可能か検証も行われています。

島根県ソフトテニス連盟では、ここまで、主催する大会や関連する行事を中止するか、選手・監督などの関係者に参加者(入場者)を限定し、いわゆる無観客試合として大会等を実施してきました。

これは、テニスコートの設置環境が関係者を完全に区分できない構造であること、体育館の利用において一般利用客を入場制限できないことなどから、ソフトテニス大会に関係する参加者を明確に特定することが困難であること、特定できるように配慮するための十分なスタッフの配置や設備変更が困難なことなどから、国や島根県からイベント実施者に要請されている「徹底した感染症対策」への対応が難しいため、選手や運営スタッフ、そのご家族の健康を守ることに不安が拭えないと判断したことによるものです。

今後の大会等においても、引き続き感染症対策に十分配慮しながら運営を考えないといけません。まずはソフトテニス大会を中止することなく実施していくため、少なくとも今年度(令和4年3月)末までは、いわゆる無観客試合により大会等を実施することを基本としつつ、現在の新型コロナウイルスによる影響の改善が進むことを前提として、スタッフの配置など対応が可能なものについては、応援される保護者の方など観客を入れた大会も検討・実施していきます。

ただし、当分の間、選手等と同様な体調チェックシートの提出を求めたり、入場できる人数を制限したりすることはありますので、示される大会要項を確認していただき、運営責任者の指示には従っていただきますよう、ご協力をお願いします。

保護者の皆様をはじめとする応援や観覧が、これまでどおりテニスコートや体育館で行っていただけよう、少しずつとはなりますが対応していきますので、引き続きご協力をお願いいたします。